

吉田松陰著「講孟余話」岩波文庫 1936年12月15日刊を読む

經書を読むの第一義は、聖賢に阿(おも)ねらぬこと要なり。若(も)し、少しにても阿(おも)ねる所あれば、道明(あきらか)ならず、学ぶとも益なくして害あり。

[コメント]

本、古典を読むことは大切であるが、自分の頭でよく考え行動すること。

- 2009年3月5日林明夫記 -